

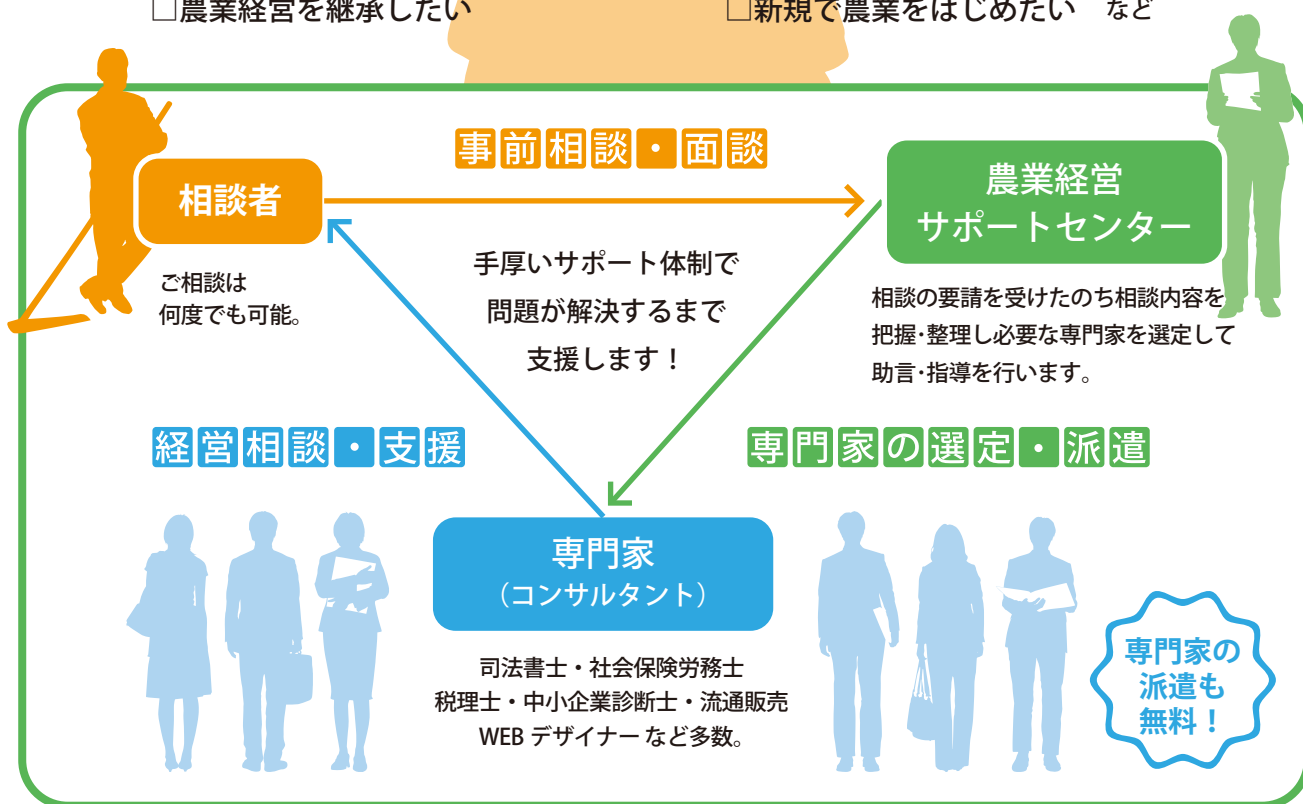
相談  
無料

# 農業経営のお悩み 解決します！

農業経営や就農に関することならどんなお悩みでも

『えひめ農業経営サポートセンター』に  
ご相談ください！

- 経営を見直し所得を増やしたい
- 経営診断で「経営が見える化」したい
- 販路を拡大したい
- 農業経営を継承したい
- 法人化したい
- 新規事業に取り組みたい
- 人材を雇用し人手不足を解消したい
- 新規で農業をはじめたい など



具体的な支援事例については、裏面をチェック！

(公財) えひめ農林漁業振興機構

えひめ農業経営サポートセンター

松山市三番町四丁目4-1 (愛媛県林業会館内)

お問い合わせ

TEL 089-945-1542

詳しくはホームページにて

えひめ農業経営サポートセンター



Eメール enk-sapo@enk.or.jp

# お悩み解決！支援事例

東・中・南予の農業法人からの依頼を受け農業経営に関する支援を行った実例をご紹介します。



(右から)  
山本勝史さん、  
おいの山本泰輔さん、  
山本昌彦さん

山本農園 山本 勝史 さん

## 支援事例 1

### 法人化するかどうが 専門家に相談し検討

今治市  
上浦町

大三島にある計34㌥の農地でイチゴや紅まどんなの施設栽培を手がけている山本さん。後継者の確保や規模拡大に向け、同じ果樹農家の兄・山本昌彦さんと経営を統合し、株式会社を設立できないかと考え、県普及指導員を通じて、えひめ経営改善サポートセンターに相談した。専門家で作る支援チームの中小企業診断士が経営状況を診断し、税理士が法人化のメリット・デメリットを洗い出した結果、法人住民税や社会保険料の負担増などを勧察すれば、現状の経営規模ではメリットが少ないとの結論に至った。山本さんは「客観的に現状を見定めてもらえてありがたかった。それ ぞれの事業で売り上げ増を図ることや、法人化で何をしたいのかを明確にすることが大事との助言を生かし、今後の計画をしっかりと考えていきたい」と将来を見据えている。

## 支援事例 2

### 地域雇用創出目指し 若手農家ら会社設立

西予市  
明浜町

片岡さんはUターン就農の経験を生かし、U・Eターナー者が働ける場所を地元で作りたくて、2020年に若手4人で農家グループ「天晴（あっぱれ）農園」を結成した。販路拡大と雇用創出へ法人化を検討するものの「何から始めたらいいかわからず」、県農業指導員の紹介でサポートセンターに相談。専門家チームの中小企業診断士による経営診断や助言を元に株式会社化を決め、社会保険制度導入や税務管理、定款作成などの支援を受けて23年11月、資本金300万円で笑丸を設立した。「法人化の基礎知識から経営理念・方針の立て方、文書作成まで多くのアドバイスをもらった」と感謝する。メンバーは7人に増え、計12㌥の農園で栽培した温州ミカンやポンカンなど約20種のかんきつを同社で販売し、ゲストハウスの運営や加工品販売、イベントも展開していく計画だ。



(左から)片岡星也さん、崎山達也さん

にこまる  
株式会社 笑丸 代表取締役 片岡 星也 さん

## 支援事例 3

### 安定雇用・規模拡大へ 法人化で社会保険充実

西予市  
宇和町

Uターン就農で2010年に実家のブドウ農園を継ぎ、19年からはイチゴの栽培も開始した松本さん。規模拡大には従業員の安定雇用が必須と考えていた折、顔なじみの県普及指導員からサポートセンターを紹介された。中小企業診断士や 司法書士らによる支援チームから、株式会社設立での税務上のメリットや資本金の決め方、取締役会をどうするかなど、定款作成に関する助言や文書のチェックを受けながら、就業規則や人事評価制度導入など労働環境の整備も進め、22年10月に資本金800万円で法人化。現在、役員のみを含めスタッフ4人が働く。「専門家が相談に乗ってくれたので安心感があつた。従業員の社会保険を充実でき、社会的信用力も上がったと思うので、販路拡大に向け営業活動にも注力したい」と経営に意欲的に取り組んでいる。



株式会社りの果樹園 代表 松本 弥生 さん